

NY マーケットレポート (2016 年 8 月 12 日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高、生産者物価指数などの経済指標がいずれも市場予想を下回る結果となったことを受けて、米国の早期の利上げ期待が後退したとの見方が広がり、ドルは主要通貨に対して大きく下落した。また、投資家のリスク回避の動きから、株価の下落や債券利回りの低下となり、比較的安全な資産とされる円が買われたことから、クロス円も大きな下落となった。その後は、引けにかけて株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も小幅ながら値を戻す動きとなった。

2016年 8月12日 (金)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.26	102.03	100.85
EUR/JPY	113.01	113.85	112.74
GBP/JPY	130.73	132.27	130.40
AUD/JPY	77.44	78.34	77.34
NZD/JPY	72.91	73.50	72.73
EUR/USD	1.1160	1.1222	1.1150
AUD/USD	0.7649	0.7725	0.7647

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18576.47	-37.05
S&P500	2184.05	-1.74
NASDAQ	5232.89	+4.50
日経225 (CME)	16810	-50
トロント総合	14747.45	-48.61
ボルサ指数	48363.89	+21.94
ボベスパ指数	58298.51	-1.06

8/15 経済指標スケジュール

08:01 【英国】8月ライトムーブ住宅価格
 08:50 【日本】2Q名目GDP
 08:50 【日本】2Q GDPデフレーター
 13:30 【日本】6月鉱工業生産
 13:30 【日本】6月稼働率指数
 14:00 【シンガポール】6月小売売上高
 16:00 【トルコ】5月失業率
 16:15 【スイス】7月生産者輸入価格
 16:30 【スウェーデン】6月個人消費
 17:00 【ノルウェー】7月貿易収支
 21:30 【米国】8月ニューヨーク連銀製造業景気指数
 22:00 【カナダ】7月中古住宅販売件数
 23:00 【米国】8月NAHB住宅市場指数
 05:00 【米国】6月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1343.20	-6.80
NY 原油	44.49	+1.00
CMEコーン	333.00	+1.25
CBOT 大豆	981.75	-2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.71%	0.74%
3年債	0.82%	0.86%
5年債	1.10%	1.14%
7年債	1.36%	1.41%
10年債	1.51%	1.56%
30年債	2.23%	2.27%

8/15 主要会議・講演・その他予定

出所：SBILM

NY 市場レポート

＜ 経済指標の結果 ＞

7月米小売売上高 (前月比) 0.0% (予想 0.4%・前回 0.8%)
 前回発表の0.6%から0.8%に修正

7月米小売売上高[除自動車] -0.3% (予想 0.1%・前回 0.9%)
 前回発表の0.7%から0.9%に修正

指標結果データ

＜米小売売上高＞

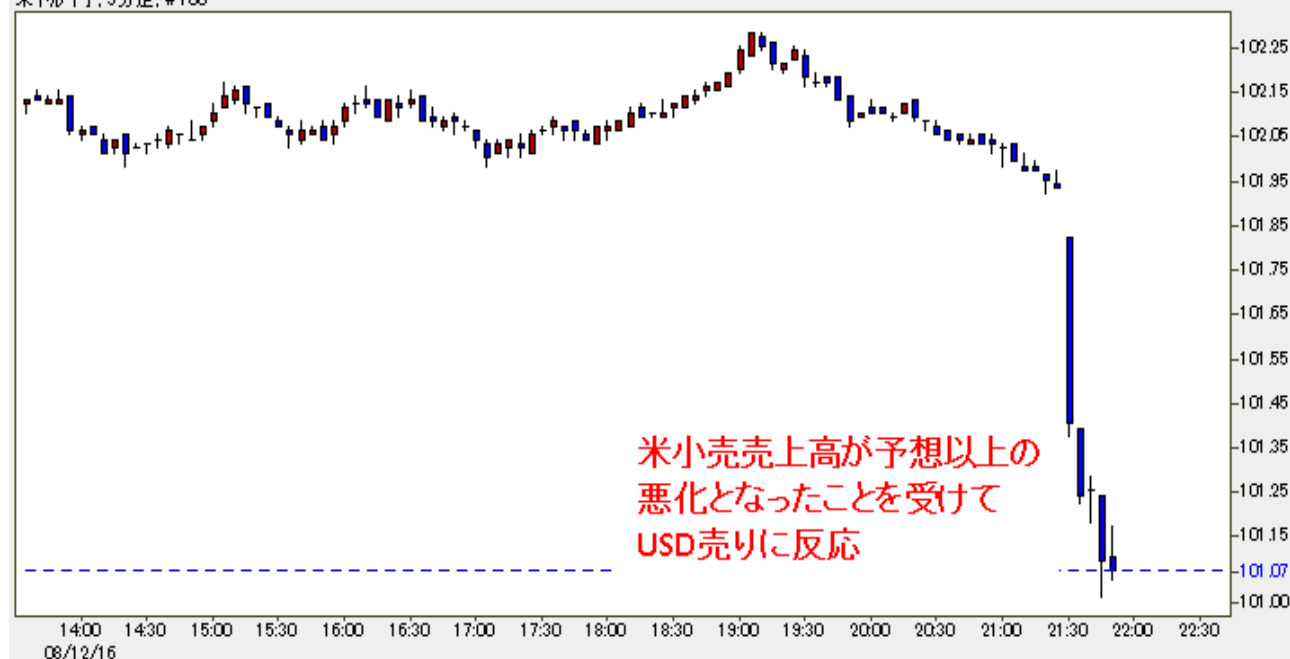
	7月	6月	5月	4月	3月	2月	前年同月
小売売上高	0.0	0.8	0.2	1.2	-0.3	0.3	0.7
除く自動車	-0.3	0.9	0.3	0.9	0.4	0.2	1.0
自動車・部品	1.1	0.5	-0.3	2.6	-3.1	0.7	2.4
建設資材等	-0.5	4.2	-2.6	-1.6	-0.5	0.7	3.5
食品・飲料	-0.6	0.2	0.2	1.2	-0.5	0.1	1.4
総合小売店	-0.1	0.2	-0.5	0.2	0.4	-0.3	-1.1
大規模小売店	-0.5	0.6	-0.9	0.4	-0.7	0.0	-4.0
無店舗小売店	1.3	1.3	1.8	2.8	0.7	1.1	14.1
その他小売店	0.3	-0.2	-1.2	2.5	2.1	-0.4	3.1
(前月比%)							

7月の米小売売上高は、前月比横ばいの4577億2700万ドルとなり、市場予想の+0.4%を下回る結果となった。前年同月比では+2.3%。また、変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は-0.3%と市場予想の+0.2%に反し減少となり、1月以来6ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では+2.2%。

①自動車関連や通信販売などが伸びを維持する一方、食品や外食、服飾、ガソリンスタンドなど販売の落ち込んだことが全体を引き下げた。

②品目・業種別の前月比では、自動車・同部品が+1.1%、家具・装飾が+0.2%、非店舗小売りが+1.3%、ガソリンスタンドは-2.7%、建材・園芸は-0.5%、食品・飲料は-0.6%、外食は-0.2%、服飾は-0.5%。

米ドル・円, 5分足, #100



出所: Net Dania

＜ 経済指標の結果 ＞

7月米生産者物価指数（前月比） -0.4%（予想 0.1%・前回 0.5%）

7月米生産者物価指数[コア] -0.3%（予想 0.2%・前回 0.4%）

7月米生産者物価指数（前年比） -0.2%（予想 0.2%・前回 0.3%）

7月米生産者物価指数[コア] 0.7%（予想 1.2%・前回 1.3%）

7月の米卸売物価指数は、前月比-0.4%と4ヵ月ぶりのマイナスとなり、昨年9月以来10ヵ月ぶりの大きな下落率となった。前年同月比では-0.2%。

- ①食品やエネルギーの値下がりモノの価格が低下し、原油価格の下落などが影響した。
- ②変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは、前月比-0.3%、前年同月比では+0.7%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは、前月比横ばい、前年同月比では+0.8%となった。
- ③モノは、前月比で-0.4%、前年同月比では-2.3%。エネルギー価格は前月比-1.0%、食品は-1.1%。サービスは-0.3%、うち貿易が-1.3%、輸送・倉庫は+0.1%。

IMF～2016年の中国に関する4条協議報告を公表

- ・「今年の中国成長率を6.6%と予想—2017年は6.2%を見込む」
- ・「中国当局は金利水準が適切だと判断」
- ・「緩和的な中国のマクロ政策が成長を支えているとみられる」

23:00

＜経済指標の結果＞

8月ミシガン大学消費者信頼感指数 90.4（予想 91.5・前回 90.0）

経済指標データ

＜ミシガン大学消費者信頼感指数＞

	8月速報	7月	6月	5月	4月	3月	2月
消費者信頼感	90.4	90.0	93.5	94.7	89.0	91.0	91.7
景気現況指数	106.1	109.0	110.8	109.9	106.7	105.6	106.8
消費者期待指数	80.3	77.8	82.4	84.9	77.6	81.5	81.9
1年インフレ	2.5	2.7	2.6	2.4	2.7	2.7	2.5
5年インフレ	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7	2.5

8月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の91.5を下回る90.4となったが、7月の確報値から0.4ポイント上昇した。現状指数は106.1で7月確報値から2.9ポイント低下し5ヵ月ぶりの低水準となった。また、期待指数は80.3と7月確報値から2.5ポイント上昇した。1年後のインフレ期待は2.5%と7月確報値から0.2ポイント低下、5年後のインフレ2.6%と7月確報値と変わらなくなった。

23:00

＜経済指標の結果＞

6月米企業在庫（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 0.2%）

指標結果データ

＜米企業在庫＞

	6月	5月	4月	3月	2月	前年同月比
企業在庫	0.2	0.2	0.1	0.3	-0.1	0.5
製造業	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.4	-3.7
小売業	0.5	0.5	-0.1	0.9	0.7	5.5
卸売業	0.3	0.2	0.7	0.2	-0.6	0.2

	6月	5月	4月	3月	2月	前年同月比
企業売上	1.2	0.3	0.8	0.2	-0.3	-0.6
製造業	0.7	0.1	0.4	0.3	-0.6	-3.5
小売業	0.9	0.1	1.4	-0.3	0.1	2.6
卸売業	1.9	0.7	0.8	0.6	-0.2	-0.4

6月の米企業在庫高は、前月比+0.2%の1兆8136億7700万ドルとなり、前月と同じ伸び率を維持した。前年同月比では+0.5%。小売業と卸売業の伸びが全体水準を押し上げたが、製造業は在庫投資への慎重姿勢が続いた。

①業種別は、小売業が+0.5%、卸売業が+0.3%、製造業は-0.1%、自動車・同部品を除く小売業は+0.2%。

②小売業では、自動車・同部品が+0.9%と前月から伸びを拡大、食品・飲料が+0.7%、総合小売りは-0.6%、建材・園芸と服飾はそれぞれ-0.2%、家具・家電は-0.1%。

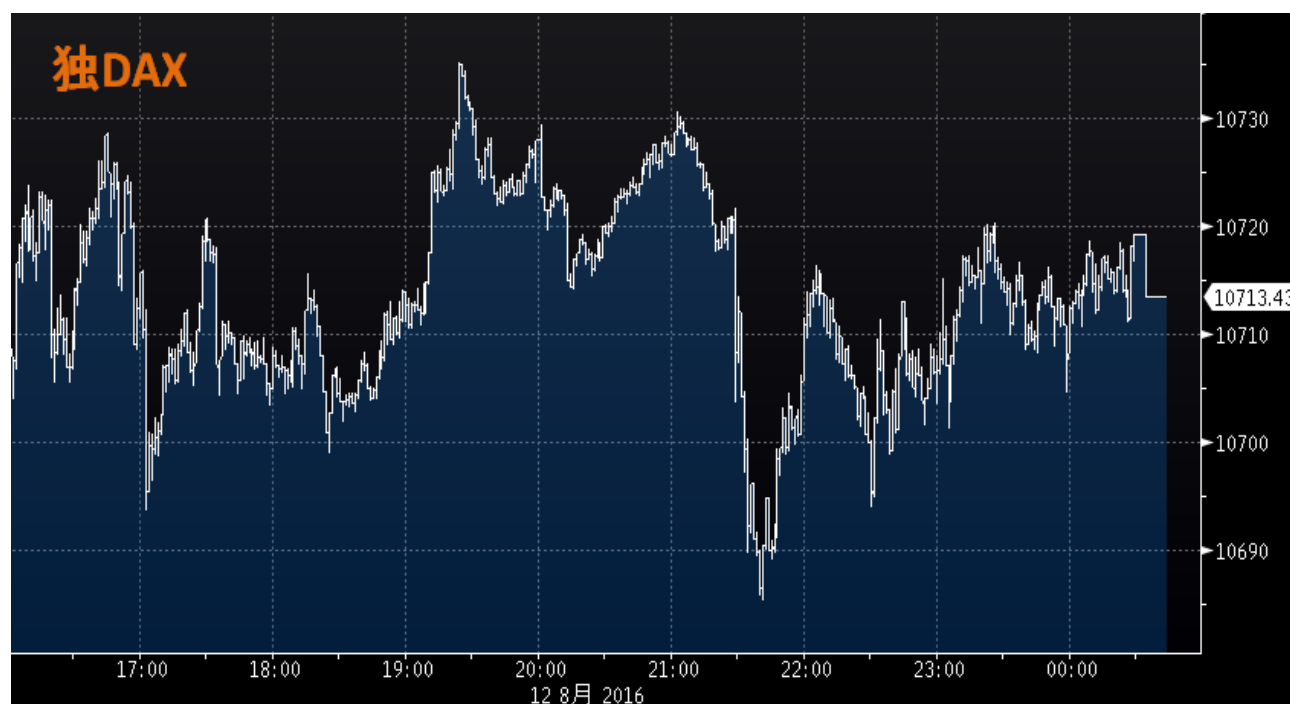
6月の企業売上高は、前月比+1.2%の1兆3078億900万ドルと2013年2月以来の高い伸びとなった。前年同月比では-0.6%。

①業種別では、製造業が+0.7%、小売業が+0.9%、卸売業が+1.9%。

②在庫高は、売上高の1.39ヵ月分に相当し、前月から0.01ヵ月のマイナスとなり、昨年11月以来の低水準となった。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。原油価格の上昇を好感した買いが入る一方、最近の株高を背景にした利益確定売りが出るなど、売り買い交錯する動きとなった。独DAX、仏CAC40は小幅安となったが、英FT100は、年初来高値を更新する場面もあり、小幅高となった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁～ラジオとのインタビュー

- ・「景気のシクリカルな動きは基本的に終わった」
- ・「今後数年はわずか1回の利上げにとどまると予想」
- ・「金利を動かす適切な時期は良好な経済ニュース後」
- ・「米成長へのドルの影響、過去2年は過剰に強調された」
- ・「リセッションリスクが短期的に高まるとはみていない」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、7月の小売売上高などの米経済指標が冴えない内容だったことで、早期の米追加利上げへの警戒感が後退して買いが先行した。しかし、その後は利益確定の売りに押され、マイナスまで下げる動きとなった。



出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、サウジアラビアが原油価格の安定に向けて他の主要産油国と協調するとの期待から、買いが優勢となった。ただ、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置の稼働数が増加したことから、一時下落する場面もあった。



出所：Bloomberg

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、小売売上高や米卸売物価指数が市場予想より悪化したことを受けて、主要株価は序盤から売りが優勢となった。ただ、堅調な原油相場を好感した買いもあり、下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で67ドル安まで下落した。その後は、下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が軒並み市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落となり、リスク回避の動きから円が買われる動きとなり、クロス円も大きく下落した。その後は、下落した株価が引けにかけて下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も小幅ながら値を戻す動きとなった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。